

第47期 中間報告書

(2024.3.1 ~ 2024.8.31)



イオングループ未来ビジョン

一人ひとりの笑顔が咲く
未来の暮らしを創造する

イオン北海道株式会社

(証券コード 7512)

株主の皆さまへ

地域のお客さまに末永く支持していただける商品づくり、店づくりに引き続き取り組みます



代表取締役社長

青柳 英樹

平素より当社経営に関しまして格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。

当中間会計期間の業績は、前年同期比で増収減益の結果となりました。売上高においては、物価上昇による生活防衛意識が続く中、イオンのプライベートブランドであるトップバリュ商品や独自開発商品がお客さまより高い支持をいただいた食品が牽引し、過去最高となりました。営業利益においては、経費は将来に向けた積極的な投資や出店、各コストの上昇により前年より増加も計画内で管理いたしましたが、売上総利益において想定を下回り、減益となっております。

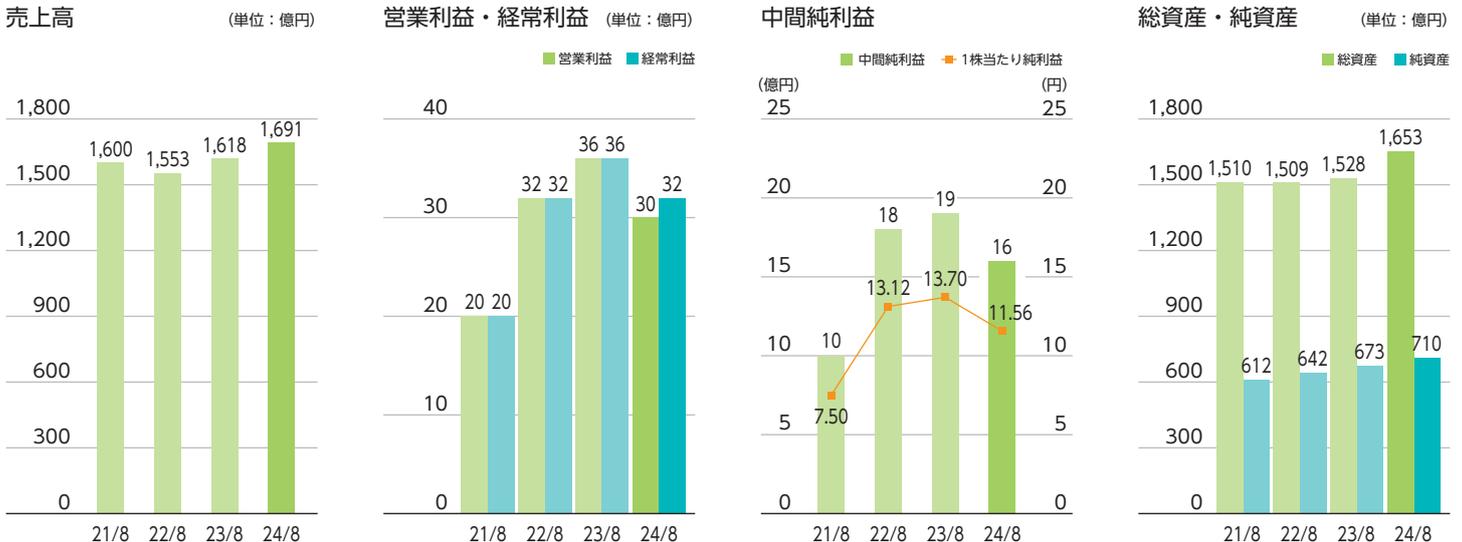
当中間期の主な取り組みにおいては、新たにイオン北郷店とマックスバリュ苫小牧清水店の2店舗をオープンいたしました。イオン北郷店は地域のお客さまの声にお応えし、食品に加え、化粧品や医薬品、書籍や文具の売場を備えた新しいスタイルの店舗となります。また、帯広エリアのマックスバリュ2店舗をザ・ビッグ業態に転換し、リニューアルオープンいたしました。各店舗ともに地域のお客さまから好評をいただいております。この取り組みを更にブラッシュアップし、今後の出店や既存店の活性化に活かしてまいります。

当年度は中期5カ年経営計画の4年目として、成長を加速いたします。10月1日には株式会社西友から北海道地域の総合スーパー9店舗を承継いたしました。永く地域で愛されてきた店舗と、それを支えてきた従業員の皆さんとともに、引き続き地域のお客さまに末永く支持していただける商品づくり、店づくりに取り組んでまいります。

株主の皆さまには変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月

財務ハイライト



(注) 2022年8月期以降の各数値は収益認識会計基準を適用した後の数値となっております。

◆損益計算書の概要

(単位：百万円)

| | 第46期 2023.3.1～ 2023.8.31 | 第47期 2024.3.1～ 2024.8.31 | 増減率(%) |
|------------|--------------------------------|--------------------------------|--------|
| 直営売上高 | 161,894 | 169,154 | 4.5 |
| 売上総利益 | 40,584 | 42,241 | 4.1 |
| 営業総利益 | 51,925 | 53,735 | 3.5 |
| 販売費及び一般管理費 | 48,246 | 50,654 | 5.0 |
| 営業利益 | 3,679 | 3,080 | △16.3 |
| 経常利益 | 3,686 | 3,265 | △11.4 |
| 中間純利益 | 1,907 | 1,609 | △15.6 |

◆貸借対照表の概要

(単位：百万円)

| | 第46期 2023.8.31 | 第47期 2024.8.31 | 増減額 |
|----------|-------------------|-------------------|--------|
| 流動資産 | 33,328 | 36,235 | 2,907 |
| 固定資産 | 119,564 | 129,079 | 9,515 |
| 有形固定資産 | 96,472 | 106,763 | 10,290 |
| 無形固定資産 | 3,240 | 3,135 | △105 |
| 投資その他の資産 | 19,851 | 19,180 | △670 |
| 流動負債 | 65,243 | 77,538 | 12,295 |
| 固定負債 | 20,269 | 16,710 | △3,559 |
| 純資産 | 67,379 | 71,065 | 3,686 |
| 総資産 | 152,892 | 165,315 | 12,422 |

◆キャッシュ・フローの概要

(単位：百万円)

| | 第46期 2023.3.1～2023.8.31 | 第47期 2024.3.1～2024.8.31 |
|------------------|----------------------------|----------------------------|
| 営業活動によるCF | 5,945 | 14,676 |
| 投資活動によるCF | △3,294 | △8,350 |
| 財務活動によるCF | △2,726 | △5,229 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △75 | 1,096 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,904 | 3,838 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 3,828 | 4,935 |

中間決算のポイント

【売上動向】

- 売上高は1,691億54百万円（前年同期比104.5%）となり、過去最高となりました。
- 部門別の売上高は、衣料部門において、節約志向の高まり、天候不順などが影響し、前年同期比97.3%（既存店前年同期比97.3%）となりました。食品部門は、商品開発やトップバリュなどの独自商品が伸長し、前年同期比105.1%（既存店前年同期比103.1%）となりました。住居余暇部門は、化粧品やトイ・ホビー、家電が好調で、前年同期比103.9%（既存店前年同期比102.5%）となりました。

【利益動向】

- 営業総利益は、537億35百万円（前年同期比103.5%）となりました。
- 販売費及び一般管理費は、積極的な投資や出店、各種コスト上昇などの影響で506億54百万円（前年同期比105.0%）となりました。
- 営業利益は、売上総利益高が増加したものの、上昇した販売費及び一般管理費をカバーするに至らず、30億80百万円（前年同期比83.7%）、経常利益は32億65百万円（前年同期比88.6%）、中間純利益は16億9百万円（前年同期比84.4%）となりました。

部門別売上高実績

(単位：百万円)

| | 売上高 | 前年同期比 | 既存店前年同期比 |
|---------|---------|--------|----------|
| 衣 料 | 9,705 | 97.3% | 97.3% |
| 食 品 | 138,078 | 105.1% | 103.1% |
| 住 居 余 暇 | 21,295 | 103.9% | 102.5% |

部門別売上総利益率

| | 売上総利益率 | 前期差 |
|---------|--------|------|
| 衣 料 | 40.5% | △0.0 |
| 食 品 | 23.4% | △0.0 |
| 住 居 余 暇 | 28.0% | +0.1 |

通期の見通し

2024年度は、売上高3,580億円、営業利益90億円、経常利益89億円、当期純利益49億円の達成を目指し、様々な取り組みを推進してまいります。最重点施策である「独自商品の強化」「新オペレーションの移行と定着」を推進するとともに、新規出店や各種セールス強化による店舗の魅力向上を図ってまいります。また、10月1日（火）より、株式会社西友が北海道で展開している9店舗を承継しました。システム・意匠・内装・什器などの投資に伴う一時費用などにより各利益項目は前期を下回る想定ですが、店舗リニューアル後、収益拡大を加速させ、承継店舗が当社の収益の柱になるように仕上げてまいります。

| | |
|-----------|----------------------|
| 売 上 高 | 3,580億円（前期比 7.5%増 ↗） |
| 営 業 利 益 | 90億円（前期比 13.2%減 ↘） |
| 経 常 利 益 | 89億円（前期比 14.4%減 ↘） |
| 当 期 純 利 益 | 49億円（前期比 20.9%減 ↘） |

トピックス

▶ 新規出店 【イオン、マックスバリュ、まいばすけっと各1店舗】

8月末までに3店舗の出店を行いました。5月にオープンした「イオン北郷店」は、老朽化したマックスバリュ店舗を新たに建て直した店舗で、従前にはない化粧品や医薬品、書籍の売場を新設しました。7月には苫小牧市内7店舗目となる「マックスバリュ苫小牧清水店」をオープンしたほか、8月には、「まいばすけっと南5条西9丁目店」をオープンしました。



イオン北郷店 書籍売場

▶ 業態変更 【マックスバリュからザ・ビッグへ】

帯広市内において、エリアの競争環境やニーズを分析し、戦略的に2店舗を「マックスバリュ」から「ザ・ビッグ」へ業態変更しました。札幌市内で実績のある、小面積のエクスプレス型も導入しました。業態転換した店舗は計画以上の数値で推移しています。



マックスバリュから業態変更した「ザ・ビッグイーストモール店」(帯広市)

▶ 店舗活性化 【上期で4店舗実施】

商圏調査を経て、生鮮食品や冷凍食品、お惣菜など、お客さまのニーズに合った品揃えを実現したほか、お客さまの利便性向上の取り組みの一環として、セルフレジや電子棚札などの導入も行いました。6月に活性化した「マックスバリュ北26条店」では、お客さま自身で商品のスキャンができ、レジでの待ち時間解消が期待できる「iレジ」を道内初導入しました。活性化を行った店舗の売上高は前年同期比104.6%となりました。



「マックスバリュ北26条店」に導入した「iレジ」

▶ 独自商品の強化 【差別化の取り組み】

当社にしかない独自商品の開発に注力しており、8月に「本気！」シリーズ第3弾として、美味しさを追求した「イオン北海道 本気！のローズとんかつ」の販売をスタートしました。また、イオンのプライベートブランド「トップバリュ」は、新商品の拡大や、値下げを実施した商品の販売を強化し、売上高前年同期比は105.2%となりました。



イオン北海道 本気！のローズとんかつ

▶ 新たなオペレーションへの移行、定着 【生産性の向上】

生産性の向上を図るべく、セルフレジの導入を進めたほか、AI活用による勤務計画の自動立案ができる仕組みを導入しました。これらの取り組みにより、1店舗当たりの総労働時間は、前年同期比98.8%となりました。また、従業員が店舗後方通路でも容易に情報伝達や数値情報の確認ができるタッチパネルモニター「CIボード」を導入しました。



CIボード

▶ 衣料・住居余暇の取り組み

住居余暇では、トップバリュ「ホームコーディ」による差別化を進めており、イオン札幌西岡店において、実験的にホームコーディを中心に扱う売場を構築しました。衣料品では、GMS業態として十勝管内での役割を担うべく、イオン帯広店において、7つのブランドショップの新規導入や婦人・紳士衣料品の売場構成をシーン別に変更しました。



イオン札幌西岡店
ホームコーディの売場構築

SDGsの取り組み



当社は、「お客さまを原点に、平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、SDGsが掲げる持続可能な地域社会への実現を目指しております。2021年に策定した中期経営計画では、昨今の気候変動やエネルギー資源の枯渇などといった様々な環境課題を背景に、「脱炭素の推進（CO₂排出量削減）」「プラスチック削減」「食品廃棄物削減」の3つを重点課題として掲げ、これらの課題への対応を進めてまいります。

| 項目 | 達成年度 | 目標 | 2023年度実績 |
|-----------------------------|--------|-------------------|------------------|
| 脱炭素の推進（CO ₂ 排出量） | 2025年度 | 2010年度対比 25%削減 | 16.1%削減 |
| プラスチック削減 | 2025年度 | 2018年度対比 35%削減 | 30.5%削減 |
| 食品廃棄物削減 | 2025年度 | 19.0kg/売上高百万円当たり | 18.2kg/売上高百万円当たり |

ロール紙の削減につながる「電子レシート」導入開始

電子レシートは、購入した日付や店名、商品など通常紙で提供されるレシートを電子化し、お客さまのスマートフォンでお買物履歴を確認することができる仕組みです。電子レシート化することでロール紙が削減できます。対象店舗でお買物いただく際、イオンのトータルアプリ「iAEON」のご提示にて利用することができます。



社会貢献につながる商品企画

当社は、北海道に根差した飲料メーカーさまと社会貢献につながる商品企画を継続して行っております。上期には、対象商品を1本購入ごとに、当社と飲料メーカーさま各1円、計2円を寄付する取り組みを2企業さまと実施しました。子どもの居場所づくり支援のため子ども食堂で使われる食材や運営費、スポーツの応援につながる取り組みに、それぞれ活用いただきます。



イオン北海道は、イオンワンパーセントクラブ及びイオン環境財団の活動を支援しています。

公益財団法人
ワンパーセント
イオン1%クラブ

当社は、公益財団法人イオンワンパーセントクラブ（以下、イオン1%クラブ）に税引前利益の1%相当額を拠出し、「子どもたちの健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域の発展への貢献」「災害復興支援」を主な領域とする事業活動を支援しております。当社では、イオン チアーズクラブの活動や、国際教育音楽祭「パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌」の活動支援などを行っており、地域の環境・社会貢献活動に取り組んでおります。

イオン1%クラブ ホームページ
<https://aeon1p.or.jp/1p/>



AEON
イオン環境財団

公益財団法人イオン環境財団は、ひとつしかない美しい地球を次世代へ引き継ぐため、世界各地の多様なステークホルダーの皆さまと連携し、「植樹（イオンの森づくり）」「助成」「環境教育」など様々な活動を、継続的に実施しています。北海道においても、自然災害や伐採などで失われた森の再生、防災林の再生、気候変動課題の解決などを目指し、「南富良野町植樹」や「厚真町さくら植樹」などボランティアの皆さまと植樹を行っており、当社もその活動に協力しています。

公益財団法人イオン環境財団 ホームページ
<https://www.aeon.info/ef/>



イオン北海道株式会社 株主懇談会

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

株主の皆さまのご意見を経営幹部が承り経営に活かしていくことを目的に株主懇談会を開催させていただきますので、ご案内申し上げます。

日 時 2024年**11月19日** (火) 14:00~16:00

会 場 グランドメルキュール札幌大通公園 (旧ロイトン札幌)
〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西11丁目

募集人数 限定**80**名様 (イオン株式会社と合同開催により左記の人数は合計人数となります。)

実施要領

1. イオン北海道株式会社およびイオン株式会社の経営方針並びに地域の取り組みのご報告
2. 質疑応答
3. 懇談

・開催時間は当日の質疑等の状況により異なりますが約2時間程度を予定しております。

申込要領

- ・お申し込みは100株以上保有の株主さまを対象とさせていただきます。
- ・ご参加は株主さまご本人 (1名) に限らせていただきます。
- ・会場までの往復交通費は株主さまのご負担とさせていただきます。
- ・参加ご希望の株主さまは下記のURLもしくは右下の二次元コードより専用サイトにアクセスいただき、必要事項をご入力の上お申し込みください。
- ・応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選結果はご登録いただいたメールアドレスにお知らせいたします。
- ・応募の際に必要な事項の入力もれ等の不備があった場合には、応募を無効とさせていただきますのでご注意ください。
- ・応募に際していただいた個人情報は、本株主懇談会を実施する上で必要な場合に限り使用いたします。

・締切日：2024年11月10日 (日)

お申込みはこちら➡



◆お申込みウェブサイト：<https://reg31.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=meqb-ljmiqj-75b53efaddaa80e1bf8ca9c8b97dc357>

株主懇談会に関するお問い合わせ先

イオン北海道株式会社 総務部 電話番号 **011-865-4120** (土・日・祝日を除く9:00~18:00)

株主優待制度のご案内

株主さまご優待制度

※画像はイメージです

<株主様ご優待券の贈呈>

お買い上げ金額1,000円 (税込) ごとに、1枚ご利用いただけます。



<長期保有株主優待制度>

全国のイオンのお店でご利用いただけるギフトカードを贈呈いたします。



<イオンラウンジのご利用>

全国のイオングループの店舗の「イオンラウンジ」をご利用いただけます。



■株主様ご優待券の贈呈

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載された100株以上を保有する株主さまを対象に、保有株式数に応じて株主様ご優待券を贈呈いたします。

| 保有株式数 | 優待内容 (優待金額) |
|--------------|-----------------|
| 100~199株 | 25枚 (2,500円分) |
| 200~499株 | 50枚 (5,000円分) |
| 500~999株 | 100枚 (10,000円分) |
| 1,000~1,999株 | 150枚 (15,000円分) |
| 2,000株以上 | 200枚 (20,000円分) |

■長期保有株主優待制度

当社の株式を3年を超えて500株以上継続して保有されている株主さまに、毎年2月末日時点の株主名簿に基づき保有株式数に応じたイオンギフトカードを贈呈いたします。

| 保有株式数 | イオンギフトカード (金額) |
|--------------|----------------|
| 500~1,999株 | 2,000円分 |
| 2,000~2,999株 | 4,000円分 |
| 3,000~4,999株 | 6,000円分 |
| 5,000株以上 | 10,000円分 |

■単元未満株式 (1~99株) の買取および買増請求に関して

100株以上の保有から株主優待を受けることが可能です！

Q. 単元未満株式の「買取」・「買増」とはなんですか？

A. 単元未満 (1~99株) の株式は市場では売買できないため、当社で買取らせていただくか、ご所有の株式が単元 (100株) 単位となるように、当社から買増できる制度のことをいいます。

手続きはこちら

- ・証券会社等の口座に記録された株式については、お取引の証券会社等へお問い合わせください。
- ・特別口座に記録された株式は、そのままでは売買等ができませんので、下記の株主名簿管理人へお問い合わせください。

三井住友信託銀行 証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

(照会先) **0120-782-031** 受付時間：土・日・祝日を除く9:00~17:00

優待内容の詳細につきましては、当社ホームページにて是非ご覧ください。

https://www.aeon-hokkaido.jp/corporation/ir/stock_04/



取締役・監査役 (2024年8月31日現在)

| | | | | |
|---------|--------|--------------|------|--------------|
| 代表取締役社長 | 青羽山井中廣 | 柳牟本出田部泉木藤松野川 | 英秀 | 樹幸治美子行実代也人也行 |
| 取締役 | | | 知 | |
| 取締役 | | | 武美眞 | |
| 取締役 | | | 和達正克 | |
| 取締役 | | | 西水 | |
| 常勤監査役 | | | | |
| 監査役 | | | | |
| 監査役 | | | | |
| 監査役 | | | | |

注：中田美知子氏、廣部眞行氏、樋泉美氏、柚木和代氏は社外取締役であります。
齋藤達也氏、水野克也氏、西川克行氏は社外監査役であります。

執行役員 (2024年8月31日現在)

| | | |
|---------|-------|------------------------|
| 取締役執行役員 | 羽牟秀幸 | 管理本部長 |
| 取締役執行役員 | 山本治 | 商品本部長 |
| 執行役員 | 石橋孝浩 | 経営管理統括部統括部長 |
| 執行役員 | 水谷和彦 | 管理本部開発統括部統括部長 |
| 執行役員 | 奥村重 | 営業本部副本部長 |
| 執行役員 | 五十公野晃 | 商品本部副本部長 |
| 執行役員 | 櫻井禎久 | 営業本部CX推進・業務改革統括部統括部長 |
| 執行役員 | 白戸正樹 | 商品本部食品商品部部長 |
| 執行役員 | 鈴木木昭浩 | 営業本部SC事業部事業部長 |
| 執行役員 | 坂東聡 | 営業本部DS事業部事業部長 |
| 執行役員 | 玉生澄絵 | 経営管理統括部環境・社会貢献・広報・IR部長 |

株式の状況 (2024年8月31日現在)

| | | |
|----------|------|----------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 普通株式 | 165,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 普通株式 | 139,420,284株 (自己株式151,912株含む) |
| 単元株式数 | | 100株 |
| 株主総数 | 普通株式 | 76,057名 |

大株主 (上位10社) (2024年8月31日現在)

| 株主名 | 持株数 | | 持株比率 |
|---|-------------|-------|------|
| | 普通株式 | | |
| イオン株式会社 | 91,289,550株 | 65.5% | |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 7,643,700株 | 5.5% | |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 1,371,800株 | 1.0% | |
| イオンフィナンシャルサービス株式会社 | 1,272,000株 | 0.9% | |
| 加藤産業株式会社 | 1,012,560株 | 0.7% | |
| イオン北海道従業員持株会 | 970,222株 | 0.7% | |
| JP MORGAN CHASE BANK385781 | 770,346株 | 0.6% | |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY505001 | 590,201株 | 0.4% | |
| 株式会社フジ | 566,400株 | 0.4% | |
| JP MORGAN CHASE BANK385794 | 477,154株 | 0.3% | |

注：持株比率の算定は、自己株式(151,912株)を除外して計算しております。

書面交付請求手続きのご案内

- 電子提供制度では、原則株主の皆さまへ株主総会資料の書面送付は行いませんが、インターネットのご利用が難しい株主さま、または、書面による株主総会資料を希望される株主さまは書面交付請求をいただくことで、従来通り株主総会資料を書面でお受け取りいただくことが可能です。
- 書面交付請求をご希望の株主さまは、ご利用の証券会社または下記お問い合わせ先へお申し出いただきますようお願い申し上げます。

Q 書面交付請求とは？

インターネットを利用することが困難な株主さまを保護するためのお手続きです。お申し出いただいた株主さまには株主総会資料を書面でお送りします。

なお、書面交付請求を行わなくても、URL等を記載した通知書面はお送りします。

Q 書面交付請求の受付期限は？

株主総会の基準日までにお申し出が必要です。お手続きには2週間以上お時間がかかる場合がございますので、余裕をもってお手続きを行ってください。

Q お手続き方法は？

証券会社にお申し出の場合は、保有銘柄の口座を開設している証券会社へお問い合わせください。

株主名簿管理人にお申し出の場合は、書面での受領を希望される銘柄ごとに申出書面のご提出が必要です。

本件に関するお問い合わせ先

三井住友信託銀行 証券代行部

0120-533-600

受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

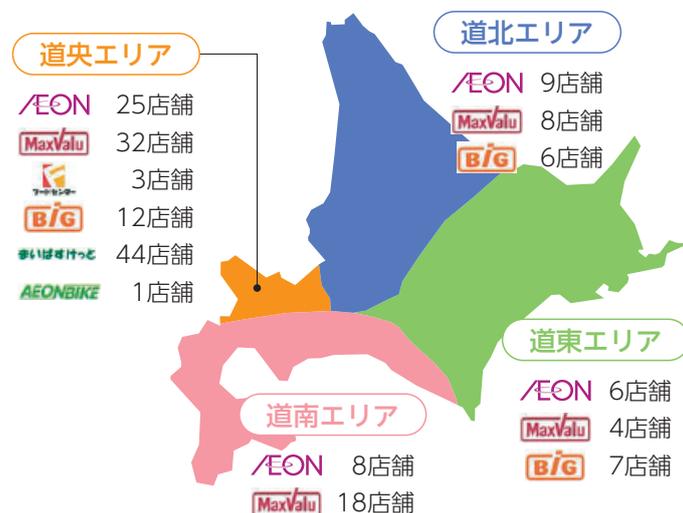
ぜひQ&Aもご利用ください。

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>



店舗情報／会社概要

店舗情報 (2024年11月1日現在)



木を植えています
私たちはイオンです

会社概要 (2024年8月31日現在) ※店舗数は2024年11月1日現在

| | |
|----------------------|---|
| 社名 | イオン北海道株式会社 |
| 本社 | 〒003-8630 札幌市白石区本通21丁目南1番10号 |
| 事業内容 | 総合小売業 |
| 設立 | 1978年4月5日 |
| 資本金 | 61億43万円 |
| 上場金融商品取引所(証券コード7512) | 東京証券取引所スタンダード市場 札幌証券取引所 |
| 決算期 | 2月末日 |
| 売上高 | 3,331億円 (2023年3月~2024年2月) |
| 店舗数 | 183店舗 イオン・イオンスーパーセンター 48店舗 マックスバリュ・ザ・ビッグ・フードセンター 90店舗 まいばすけっと 44店舗 イオンバイク 1店舗 |
| 従業員数 | 12,914名 ※パートタイマーは月間160時間換算 |
| 主要取引銀行 | 北洋銀行、北海道銀行、三井住友信託銀行、 北海道信用農業協同組合連合会 |



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。